



新世代が頭角をあらわしたパイプライン決戦。

"It's nice to get one back"

マスターズの出場権を賭け世界一のハードブレイク、パイプラインで行われた注目のWQSモンスターエナジープロ。日本も含め世界のニュージェネレーションが目覚ましい活躍ぶりを魅せた“パイプライン”のもうひとつの戦い。

○レポート：堀江 拓 | ○キャプション：本本直哉
Report Taku Horie | Caption Naoya Kimoto

4 Star WQS Event
Monster Energy Pro
Presented by Billabong
Hawaii Pipeline, Oahu-Hawaii
January 27-February 1, 2007

(見聞き)コンディションに振り回され、しかも5日間かけてコンテストを戦わせたモンスターエナジーパイプラインの中において、DAY 3、月96でシンベイが魅せたバックサイドグラブレイルチューブは9.50を叩き出し、その名をパンパシフィックで知らしめたと言われている。結果的にシンベイはR32まで駒を進め、17位。本人としては、当然ファイナルまでメイクしたかったことだろう。Sheep Hongchi | Scott Aichner



The REVIEW

2007年2月15日、今冬の最後となったヒュージパイプダイ。ファースト
リーフとしては前代未踏の12ftバレルにフルインしていったワキタ。クロ
ーズアウトセットがくる中、ビキビキのインサイドバレルを掴むこと自体、
ハードコアの境地と賞えるシチュエーションの中をサバイバルしていった
ワキタは、まさにこの日のヒーローと賞えるパイプライナーとなり、誰もが
賞める作品となった。Takayuki Wakita 等 Pipeline. U-SKE